令和７年度　第 12 回　昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会　場　令和８年３月 26 日（木）午後７時 00 分～９時５分　市役所 204 会議室

出席者　二ノ宮リム議長、谷部副議長、鈴木委員、渡部委員、指田委員、齋藤委員、石川委員、信國委員、平委員、小池委員

事務局　秋山社会教育係長、久保社会教育主事

１　開　会

＜配付資料＞

【資料１】令和７年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会開催要項・委任状

【資料２】社会教育統計中間報告(令和６年度)概要

【資料３】第５期東京都生涯学習審議会「答申」概要

【資料４】東京教育ビジョン（第５次）―「社会教育・生涯教育」観点での概要

・とうきょうの地域教育 No.157

・教育・青少年だより　エール 20 号

・社教連情報 No.98

２　報　告

(１)令和７年度昭島市社会教育関係団体研修会及び社会教育委員自主研修について（報告）

議　長　まず社会教育関係団体研修会について、参加した方のご感想をお願いします。

副議長　生成 AI の活用により事務を効率化していくことで、すごくデジタル化が進んでいると思った。特に資料作成については、デジタル化が急激に進んでいると感じましたが、操作を憶えていかなければならないのが大変だなと感じました。講演してくださったデジタル戦略課長が途中で帰られたのが残念だった。課長が帰られた後、グループごとに意見交換を行い、発表を行ったがその内容を課長に聞いていただきたかった。

委　員　デジタル化を進める中で市民が自宅から手続きを行えれば市役所へ行く手間は省けると思うが、スマートフォンを持っていない方は苦手な方が不利益を被ることも考えなくてはならないと思った。誰一人漏らさずといった言葉もあったと思うが、今後この点は非常に重要になってくると思う。

委　員　デジタル戦略担当課長からは、デジタル化で職員の負担が軽減されて出来た時間を別のサービスを充実できればとのお話しもあった。まさに、このことをデジタル化で取り残されないように窓口対応を行うようにサービスを充実していただくなど、サービスを充実していただきたいと思いました。

副議長　デジタル戦略担当課長にお聞きすれば良かったのだが、昭島市は都内でもデジタルがどの程度進んでいるのかを聞きたかった。

事務局　デジタル戦略担当課長に確認しないと分かりませんが、自分の肌感覚でお話ししてよろしければ、進んでいると思います。本年度から電子決済が本格的に始まり、生成 AI の活用等業務中あらゆる場面でデジタルを感じる機会が多い。また、デジタル化

を推進する中で、当然予算が必要となってくるが、税収が伸び、また市長からも積極財政を打ち出し、必要な部分には予算を措置していく考えが打ち出されていることからも進んでいる感じがします。

議　長　次に町田市地域活動サポートオフィスへの自主研修について、参加した方のご感想をお願いします。

委　員　地域活動を盛り上げるためにNPO、有志活動、自治会などいろいろがあると思うが、町田市の視察でまちカフェの話を伺い、その中で出会いが多く、その出会いの中で色々なものが生まれているとのことだった。この活動が地域活動に循環していると感じた。

副議長　町田市地域活動オフィスは、地域のパイプ的役割をどうしているのか、現場に行ってみて話を聞けてよかった。やはり組織的に横のつながりをしっかりしていた。以前、民間企業で働いていたが縦の組織により組織が成り立っていて、横の組織展開をしていくことが難しいというのは良く分かっていた。横の組織をマトリクス組織と言ったと思うが、民間企業に勤めている間は横の組織が展開されていくことが無かったと思う。繰り返しになるが、町田市を視察して横串というのか、横の展開が良く行われていたことが印象的だった。町田市の前市長が積極的だったとも聞いているが、昭島市でもこういった活動が進んでいくと良いなと思いました。

委　員　組織的にも市民と接点ある人も大事にしている印象があった。

委　員　地域の活動を活発化させるには、こういった町田市地域活動オフィスのような組織が昭島市にもあるとよいのではとも思った。

議　長　町田市地域活動サポートオフィスは、市の受託事業を行う団体と知った。市で予算を計上し、事業を発注していることからも町田市でも力を入れて地域活動をとらえていると思いました。

（2）その他（報告）

委　員　青少年問題協議会の会議に参加した。最近赴任してきたばかりの昭島警察署生活安全課長のお話を伺った。前職場が桜田門にあるSSBCという組織でプロファイルを担当していたそうで、非行少年の数は全体的には減少傾向であるが、春休みなど非行に走るケースが多々見られる、遊ぶお金が欲しい、借りたけど返せない、闇バイトへというパターンになるお話を伺った。

3　協　議

（1）令和7年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会の出欠について【資料 1-1.2.3】

事務局　総会に欠席される方は委任状を提出してください、
出席する方は、午後1時15分にJR武蔵小金井駅集合でお願いします。

（２）第 33 期昭島市社会教育委員の建議について　【資料２・３・４】

事務局　建議を考えるにあたり、前回の会議の中で、国と東京都の社会教育の考えはどんな考え方をしているのか参考にしたい、ということで、国と東京都の社会教育について資料をご用意しました。調べてみて思ったのが、東京都は特に学校との地域連携や部活動の外部委託などどちらかというと学校教育事業への参入の色が強いなと感じました。

議　長　社会教育のこの数年の中での一番の変化は、「社会教育士」についてです。

事務局　社会教育士とは、元来、社会教育主事という資格があり、公務員で任用されないと効力を発揮しない資格でした。それが、公務員でなくても、地域や民間であっても効力になるような資格にしようということで、科目を追加履修することで、「社会教育士」という資格が誕生しました。

議　長　行政の狙いとしては、市民の学びをファシリテートしてくれる人材育成、社会教育は行政のものではない、企業地域でも活躍できるようになることが狙いでした。

委　員　公民館活動でも ICT 化やデジタル化が強調されるようになった。

委　員　（先ほど一言コーナーで）先日、昭島市の公民館の創設した際のメンバーでの座談会があったが、そういった貴重な資料をどこに預けたらいいのか、一般常設展示できるところがあるといいなという意見があったが、地域の昔の文化財をアキシマエンシスで集めています、というポスター掲示を見たことがあります。活発にしてほしいと思う。

副議長　P52　基本施策５－（２）「社会教育関係団体の育成」について、見直しの提言をしたい。

『あきしま会議を実施します』とあるが、あきしま会議はすでに 10 回行っており、その有用性は明らかであると思う。今後も継続してあきしま会議が開催されていくだろうから、市民と行政のパイプ役として期待されていると思うし、町田市のようにパイプ役としての役割を担う組織を設置するなどの展開があってもいいと思う。このように、あきしま会議の部分について、やりっぱなしにならないように、パイプ役を担う組織を提言に入れて実現化できるといいなと思う。

副議長　同じく、基本施策 5－（２）「社会教育関係団体の育成」について、見直しの提言をしたい。

あきしま会議は既に活動している、支援の在り方、意見や課題を言い合う会である。支援連携は卒業した。指導者育成の研修段階ではないと思う。

議　長　基本施策１－（１）「市民文化祭の実施」などについて、何か提言はありますか？

委　員　文化芸術についても、どのセクションについても、使いやすい施設になれば市民活動も活発になる。できるといいなと思う。

委　員　市民の声を入れながら使い勝手いいものに変えていく、活動している方々から疑問が生まれた時に反映されるような意見が言える場所があるといい。運用（ソフト面）意見要望を取り入れて、声がある場合、促進するためにはソフト面の

対応も必要だと思う。

議　長　利用者側からの意見改善を言えるのは、公民館運営審議会しかない。他の施設でもそういう機会や体制が必要で、市民の声を反映された市民の改善（他の施設でも市民の声が届くような・・）があるといい。

委　員　基本施策４－（４）「多言語・多文化資料の充実」について、特に施策の方向性（４）に「誰一人取り残さない」について、目的を明確化したい。

図書館に対して市民が意見を言えるのもそうだし、多文化の資料の充実とあるが、市民がどの言語が必要か、やる人の対応なのか、知らされているか（誰のため？日本語の勉強のため？外国人のため？）がわからない。

外国人は公共施設で見かけない、今後外国籍人口が更に増えているため、次点修正が必要。きっと（策定した令和４年 3 月より）すさまじく外国籍の人口が増え、それに対応するために、実際はもっと踏み込んだ言い方が必要である。(それは施策全体に言えるが)。何がしたいのか明確化したほうがいい。それぞれの文化で入っていくために、WELCOME 的に入っていけるといいなと思う。

つながりをもちたいとき、場や機会の提供も必要である。

日本人の中に入らなくても、共有する人が使える場所としてあるといい。

分断されない、溶け込んでいければいいなと思う。

ママ友との集まりなど、こんな使い方できますよ、市立会館、図書館、施設の利用を促すのも一つ大事だなと思う

議　長　オンブスマンなど意見の言える場所は他にはないか？

事務局　目安箱代わりに「市長への手紙」という制度がある。市長への手紙は、必ず市長も目を通して、各担当部署が回答している。

委　員　（施設をうまく）使えない、だから駄目だね（イコールギブアップ）になってしまう、それだと意味がない。ソフト面で活発化されるといいい。

本人だけではなく、子どもも意見を吸い上げる、あるものを使いやすくするために考えていきたい。

委　員　基本施策５－（３）「生涯学習サポーターの養成と活用」について、提言したい。

生涯学習サポーター養成講座は「団体とのつながり」を目的としておらず、個々の経験スキル活かせる、地域への提供が目的。ここにまなぶンの活動も追記してほしい。

議　長　学校現場の立場から見て、どんなふうに感じられますか？

委　員　例えば、昭島で、地域人材コーディネートとして、電話一本で講師依頼が出来て、講演してくれるといいなと思う。

事務局　他市では、学校運営協議会や、地域コーディネーターなどが学校に一人配置されて、気軽に問合せで可能な場合もある。

議　長　人材バンクがあれば、人を探すときにもスムーズである。

委　員　リストがあれば、面白そうと思い、問合せや、これいいね、と計画がたてやすい。今年度、昭島市はクリケットに力を注いでおり、外国人の方が講演に来て下さったので、他国文化も含めて講演してもらった。いろんなジャンル選べる

といいなと思う。文化歴史など精通な人をリスト化できるといい。

委　員　　ボーイスカウトなどは、技能証などで、名簿化しており、照会制度が充実している。

（3）その他

4　その他

議　長　　特になければ本日は以上で終了としたい。

次回　　4月23日（木）午後7時より　203会議室+Web会議
　　5月26日（火）午後7時より　203会議室+Web会議